

科目名		母性看護学概論			
科目分類	専門分野Ⅱ	履修年次	1年次	履修時期	12月～2月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	専任教員	実務経験	母性看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	母性(父性)の概念及びライフサイクルにおける母性各期の特徴を学び、母性保健活動の看護の機能・役割を理解する。				
学習目標	1. 母性看護における基礎となる概念、対象の特徴と、役割について理解する。 2. 母性看護の歴史、動向を知り、リプロダクティブヘルスの概念をもとに、今後の看護における課題について理解する。 3. 母性のライフステージ各期における特徴と健康、母性にかかわる法律について理解し、母性保健の在り方や健康の保持・増進を基盤とした看護について理解する。				
回	授業内容			授業方法	
1	1.母性看護の基盤となる概念 母性とは ・母子関係と家族発達			講義	
2	セクシュアリティ・リプロダクティブヘルス/ライツ・ヘルスプロモーション			講義	
3	母性看護の在り方・母性看護における倫理・母性看護における安全・事故防止			講義 DVD視聴	
4-5	2.母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 母性看護の歴史的変遷と現状:母性看護の変遷・母子保健統計の動向			講義	
6	母性看護に関する組織と法律・母子保健施策・母性看護の場と職種 母性看護の対象を取り巻く環境:家族・地域社会 その他			講義	
7	3.母性看護の対象理解			講義	
	4.女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化・家族 母性の発達・成熟・継承				
8-9	5.女性のライフステージ各期における看護 ライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性			グループワーク	
10	6.リプロダクティブヘルスケア			講義	
11	家族計画・性感染症・HIVに感染した女性への看護・人工中絶と看護 喫煙女性の健康と看護・性暴力を受けた女性に対する看護 児童虐待と看護・国際社会と看護			ビデオ視聴 講義	
12	5.女性のライフステージ各期における看護 ・思春期の健康と看護			グループワーク発表	
13	成熟期の健康と看護			講義	
14	更年期の健康と看護 ・老年期の健康と看護			講義	
15	試験				
使用教材	1. 系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論 医学書院 2. 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 最新版				
参考文献	1. 新体系看護学全書母性看護学①母性看護学概論/ウィメンズヘルスと看護 メヂカルフレンド社 2. 大平光子 他 NICE 母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル 南江堂				
成績評価の方法	筆記試験 その他、課題への取り組み状況、授業態度などをふまえて総合的に評価する。 1単元30時間100点とする。				

科目名	母性看護学援助論 I (周産期にある人々の看護)				
科目分類	専門分野 II	履修年次	2年次	履修時期	6月 ~ 9月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	専任教員	実務経験	母性看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	周産期にある人々の特徴と母性看護を実践するために必要な看護を理解する。				
学習目標	1. 妊娠の生理や胎児の発育とその生理、妊婦の身体的な変化や特徴について理解する。 2. 妊娠、家族の新しい役割について理解し、妊娠期の心理・社会的特徴と、安全に分娩期を迎えるための援助について理解する。 3. 分娩の正常な進行を促すための援助及び安全・安楽に出産するための看護の視点について理解するとともに、産婦・胎児の健康状態を理解し、分娩の進行に沿って必要な情報の収集、観察の技術等、援助の実際について学ぶ。 4. 産婦の身体的変化(進行性変化・退行性変化)と、産褥経過の診断、看護に必要な健康状態のアセスメントの視点について理解し、退院後の産婦へのサポート体制について理解する。 5. こどもを迎えた産婦・家族の心理・社会的な役割変化について理解する。 6. 出生直後からの新生児の生理的变化について理解し、身体的特徴について理解する。 7. 新生児の発育の評価、健康状態のアセスメントを理解し、新生児と母親・家族関係に留意した看護について理解する。				
回	授業内容			授業方法	
1・2	第1章.母性看護の役割の拡大 A.子供を産み育てるとのこと B.母親になるとのこと			講義	
3・4	第3章.妊娠期の看護 A.妊娠期の身体的特徴 B.妊娠期の心理・社会的特性			講義	
5・6	C.妊婦と胎児のアセスメント D.妊婦と家族の看護			講義	
7	第4章.分娩期における看護 A.分娩の要素 B.分娩の経過 C.産婦・胎児のアセスメント D.産婦と家族の看護 E.分娩期の看護の実際			講義 DVD視聴	
8・9	5.新生児の生理 6.新生児のアセスメント7.新生児の看護			講義	
10	8.新生児の看護技術について実施 ・新生児のバイタルサイン測定⇒全身観察⇒沐浴 ⇒衣服の着脱・授乳姿勢 新生児の抱き方			DVD視聴	
11	1.産褥経過 ①産褥期の身体的変化 ②産褥期の心理・社会的変化			講義	
12	2.産婦のアセスメント ①産褥経過の診断 ②産婦の健康状態のアセスメント			講義	
13	3.産婦と家族の看護 ①身体機能の回復及び進行性変化への看護 ②児との関係確立への看護 ③育児に関わる看護 ④家族関係再構築への看護			講義	
14	4.施設退院後の看護 ①育児不安と育児支援 ②職場復帰(制度)			講義	
15	・試験(妊婦・産婦正常編・産褥で80点+新生児20点計100点)				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

使用教材	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論 医学書院
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新体系 母性看護学2 マタニティサイクルにおける母子の健康と看護 メヂカルフレンド社 2. カラー写真で学ぶ 妊産褥婦のケア 第2版 医歯薬出版株式会社 3. 写真で分かる 助産技術 妊産婦の主体性を生かしたケア 安全で母児に優しい助産のわざ インターメディカ 4. 病気がみえる⑩ 産科 MEDIC MEDIA 5. ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程 第3版 医歯薬出版 6. 改訂第2版 日本版救急蘇生ガイドライン2010に基づく 新生児蘇生法テキスト MEDIC MEDIA 7. 母子看護学 母子看護技術Ⅰ 母子看護技術 第2版 廣川書店
成績評価の方法	筆記試験：妊娠期・分娩期と産褥期の看護で80点、新生児の看護20点と合わせて100点とする。

科目名		母性看護学援助論Ⅱ(ハイリスクな状況にある人々の看護)			
科目分類	専門分野Ⅱ	履修年次	2年次	履修時期	10月～12月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	医師・専任教員	実務経験	産婦人科医師・母性看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	ハイリスクな状況にある人々の病態および検査・治療・看護を理解する。				
学習目標	母性看護を実践するために必要となるハイリスクな状況にある妊娠期・分娩期・産褥期の病態及び検査・治療について理解する。 1. 妊娠・分娩・産褥の正常な経過・生理的变化を基盤とし、状態が逸脱する場合の原因とその変化について理解する。 2. 妊娠・分娩・産褥経過中に見られる異常や問題について学び、アセスメントの視点と看護について理解する。 3. 新生児の異常がおこる原因とその診断について学び、アセスメントの視点と看護について理解する。				
回	担当	授業内容			授業方法
1 2 3 4 5 6 7	産婦人科医師	1. 遺伝相談・不妊治療 2. 妊娠初期から中期の異常 ・合併症・感染症・流産・早産 3. 妊娠中期から後期の異常 ・妊娠高血圧症候群 ・常位胎盤早期剥離 ・胎盤位置異常 ・子宮内胎児発育遅延 ・羊水量異常・胎児体位異常 ・胎児機能不全 ・児頭骨盤不均衡 ・予定日超過 4. 分娩の異常 ・分娩の三要素(産道、娩出力、娩出物) ・分娩直後の異常 ・産科処置と産科手術(帝王切開) 5. 産褥の異常: 産褥期のホルモン変化 ・産褥期の問題点			講義 講義 講義 講義 講義 講義
8 9・10 11・12 13 14 15	専任教員	I. 妊娠の異常と看護 6. 出生前診断を受ける人への看護・遺伝カウンセリング C. 不妊治療と看護 ①原因 ②検査 ③治療 ④治療を受けている女性の心理・社会的特徴 ⑤不妊夫婦への看護・社会的支援 ⑥不妊治療に対する看護 G. ハイリスク妊婦の看護 ①高年 ②若年 ③肥満・過剰体重増加 ④ART後 ⑤合併症(心疾患・糖尿病・子宮筋腫) ⑥妊娠高血圧症候群⑦切迫流・早産 ⑧多胎 ⑨その他 II. 分娩の異常と看護: 産道・娩出力・胎児・付属物の異常 J. 異常のある産婦の看護: ①破水②分娩遷延のリスク③胎児機能不全 K. 異常分娩時の産婦の看護: ①帝王切開術②骨盤位分娩③急速遂娩 L. 分娩時異常出血・産科処置と産科手術: (弛緩出血 頸管裂傷・膣 会陰血腫 会陰裂傷) IV. 産褥期の異常と看護 (子宮復古不全・産褥熱・感染症・乳房トラブル 本人あるいは児に健康上の問題がある場合・児を亡くす) V. 精神障害合併妊婦と家族の看護 A. 妊娠への影響 B. 治療および看護 III. 新生児の異常と看護 A. 新生児仮死 B. 分娩外傷 C. 低出生時体重児 D. 高ビリルビン血症 E. 新生児・乳児VK欠乏性出血症 試験 疾患50点+看護50点 計100点			講義 講義 講義 講義 講義
使用教材	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論				
参考文献	1. 母性看護学 母性看護技術Ⅰ 2. 新体系看護学全書 母性看護学② マタニティサイクルにおける母子の健康と看護 3. 病気がみえる⑩ 産科 第2版 MEDIC MEDIA				
成績評価の方法	筆記試験 ハイリスク妊娠の病態に関する講義と合わせて100点とする。				

科目名		母性看護学援助論Ⅲ(母性の家族発達)			
科目分類	専門分野Ⅱ	履修年次	3年次	履修時期	4月
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	専任教員	実務経験	母性看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	母性看護における倫理的問題と母子関係から倫理観と家族の在り方を考え、家族発達の援助を理解する。				
学習目標	<p>母性看護を実践するために必要となるハイリスクな状況にある妊娠期・分娩期・産褥期の病態及び検査・治療について理解する。</p> <p>1. 家族形成期と家族の発達について現代社会の背景を捉え、理解する。</p> <p>2. 子どもの誕生に伴う家族の様々な変化や、家族を取り巻く環境について理解し、家族形成期の役割と家族の発達課題、および倫理的側面を捉えた看護の視点について学ぶ。</p> <p>3. 母性看護における看護過程、ウェルネス志向が理解でき、事例を基に周産期の看護計画が立案できる。</p>				
回	授業内容				授業方法
1	1.家族とは 2.家族形成期の家族の理解 ①家族形成期と家族の発達 ②新たな役割と課題 ③生活の再構成 ④家族の構成と関係の変化 ⑤家族の社会的変化 ⑥ライフスタイルの形成				講義
2	3.家族形成期の看護 ①システムとしての家族 ②家族形成期のアセスメントと援助 ③家族形成期の援助の実際 * 母性領域で起こりやすい家族の問題 ・家族形成期:事例を用いて考える				講義
3	1.母性看護における看護過程 ①母性看護の特徴 ②マタニティサイクルにおける考え方 ③ウェルネス看護診断の考え方 ④ウェルネス看護診断の展開 2.看護過程(情報収集のポイント)				講義 個人ワーク
4・5・6	3.看護過程のそれぞれの項目のポイント 4.看護過程:記録記載について 5.事例についてアセスメントして看護計画を立案 6.看護計画立案				講義 グループワーク
7	7.看護計画発表 まとめ(講義)				発表
8	試験				
使用教材	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論 医学書院				
参考文献	1. 新体系看護学全書 母性看護学②マタニティサイクルにおける母子の健康と看護 メヂカルフレンド社 2. ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程 第3版 医歯薬出版				
成績評価の方法	グループワークへの取り組み状況 および筆記試験 100点にて評価				